

星についての質問

Q. 一等星はぜんぶで何こあるのか？

A. 1等星は全部で21個あります。そのうち、神戸市や明石市から見えるのは16個です。

Q. 星のことでまだしれてないことは何ですか？

A. 例えば、「宇宙で最初に誕生したのはどの星か？」など、星のことで、わからないことは、たくさんあります。

Q. 星の色は何色ありますか？

A. 星には、いろいろな色の星があります。輝く星の色は、星の表面の温度によって変わります。温度が低いと赤色。そこから、温度が上がるにつれて、橙色、黄色、白色、青色と変わっていきます。色の変化は連続的なので、「何色」といった数字で表すことができません。

Q. 一番1年間で星が綺麗な季節は何月ですか？

A. 明るい1等星が多く、空気が澄んでいることから、冬の星空がきれいと言われることがありますが、春も、夏も、秋も、冬も、星はきれいだと思います。

Q. 星が一番綺麗に見えたところはどこですか☆

A. 船で旅をしているとき、陸地から遠く離れた太平洋の上で見た星空が、とてもきれいでした。

Q. どうしたら一ばんぼしを見れますか？

A. その人が、その日、最初に見つけた星が一番星になります。太陽が沈んだ後、空を見渡しながら星を探してみましょう。きっと一番星が見つかります。

Q. アンタレスの温度は何度ですか？

A. アンタレスの、星の表面温度は、約3500度です。

Q. 一番高い温度の星は何で何度ですか？

A. 一番温度が高い星の候補として、ウォルフ・ライエ星と呼ばれるタイプの星が、あげられます。ウォルフ・ライエ星の中には、表面温度が5万℃を超える星もあります。

Q. 宇宙で一番明るい星は？

A. 一番明るい星の候補として、ウォルフ・ライエ星と呼ばれるタイプの星が、あげられます。ウォルフ・ライエ星の中には、太陽の100万倍以上、明るい星もあります。

Q. 今日一番明るい星はなんですか？

A. 2023年7月22日の夜空に見つけられる星で、一番明るく見えるのは金星です。金星は、夕方の西空に見られるときには「宵の明星」と呼ばれています。

Q. 今日の1番星はなんですか

A. 2023年7月22日に一番星として見つけやすいのは、金星です。でも、一番星は、その人が最初に向つた星が一番星となります。西の空の低いところにある金星よりも、うしかい座のアークトゥルスや、こと座のベガを一番星として見つけた人もいるかもしれません。

Q. 1番輝く（1番光の強い）星は何ていう星ですか

A. 太陽と月をはずすと、地球から見て一番明るく見える星は、金星です。太陽みたいに自ら光輝く星（恒星）の中で、一番明るく輝いて見える星は、おおいぬ座のシリウスです。

星座について

Q. せいざはなんしゅるいありますか

A. 星座の数は「88」です。

Q. ふたござはどこで見れますか？

A. ふたご座は、日本であれば、どこでも見られます。ふたご座の見ごろは冬です。冬の大三角の少し北に見つかります。

Q. 何で星座は12個なの？

A. 星座の数は「88」です。「12」は、そのうち「お誕生日の星座」と呼ばれるものの数です。お誕生日の星座は、太陽が動いていく通り道にある星座です。

Q. ほしのせいざは、なんのせいざがありますか

A. おおぐま座や、しし座、さそり座のように生き物が星座になったものや、ふたご座や、おとめ座、ヘルクレス座のように、人や神様が星座になったもの、こと座や、てんびん座のように道具が星座になったものなど、いろいろな星座があります。

Q. 12月はどんなせいざが見れますか

A. 12月には、オリオン座やおおいぬ座、こいぬ座、おうし座、ふたご座などの星座を見ることができます。

Q. おうしざはなんこほしがあつまっていますか

A. おうし座にある、私たちの目（裸眼）で見える星の数は100個余りです。ちなみに、おうし座には、プレアデス星団（すばる）と呼ばれる天体があり、プレアデス星団には、目で見えない星まで数えると100~200個の星が集まっています。

Q. 星座を見つけるコツを教えてください

A. 季節ごとに、明るい星や、わかりやすい星の並びを覚えると見つけやすくなります。例えば、夏の大三角を見つけられるようになると、こと座、わし座、はくちょう座が見つかります。秋の四辺形からは、ペガサス座を見つけることができます。

Q. 星座で一番大きいのはなんですか？

A. 一番大きい星座は、うみへび座です。

宇宙人について

Q. 宇宙人はいますか

A. 地球以外の星に、生き物はまだ見つかっていません。でも、多くの天文学者が、地球以外の星にも生き物がいると考えています。人間のように、文明をもつような宇宙『人』となればいる可能性は、ぐんと低くなります。

Q. 宇宙人を見た事はありますか。

A. 宇宙人をみたことはありません。

その他

Q. 星座早見を上手に使うコツを教えてください！

A. 日付と時刻をしっかりと合わせ、方位を間違えないように空と見比べることです。明るい星から順番に、星空と星座早見を見比べていくといいでしょう。ただし、星座早見には、明るく見える惑星が載っていないので注意してください。

Q. お月様は何で見え方が変わるんですか？

A. 月が地球のまわりをまわりながら、太陽の光の当たり方が変わるためです。

Q. なぜブラックホールは吸い込まれることが分かったんですか？

A. ブラックホールに、周りのガスが吸い込まれる時、ガスは、ブラックホールのまわりを、ものすごく速く回転しながら吸い込まれます。ものすごく速く回転するときに温度が上がって、その様子を観測することで、ブラックホールにガスが吸い込まれている様子がわかります。

Q. 宇宙に行ったらどうなるの？

A. 宇宙飛行士のように、宇宙船で宇宙に行ったり、国際宇宙ステーションにいる時のお話です。宇宙に行くと、重力が小さくなって体が浮いてしまいます。また、血液なども下に引っぱられずに、頭や顔などの上半身に集まってくるため、宇宙では顔がむくんでしまうそうです。

Q. 地球以外で人間が住めそうな惑星ってありますか？

A. 地球に、一番よく似た環境の惑星は火星です。火星なら、将来、人が住めるようになるかもしれません。

Q. 一番遠くまで見れる望遠鏡は、何ですか？

A. 2021年12月に打ち上げられた「ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡」も、およそ135億光年先の宇宙にある銀河の観測に成功しています。

Q. 地球は、いつできたか？理由は？

A. 地球ができたのは、今から46億年前です。太陽ができた後、太陽のまわりをまわっていた岩石などが、ぶつかり、くっつきながら地球ができました。

鈴木先生について

Q. いつから、ほしが好きになりましたか？

A. 私が星を好きになったのは、大人になってからです。

Q. 先生が好きな星は？

A. 夏の星座の星では、ベガ（織姫星）が好きです。望遠鏡で見ると、白くキラッと輝く姿がとてもきれいです。

Q. 鈴木先生が一番好きな星は何ですか？

A. 冬の天体では、おうし座にあるプレアデス星団（すばる）が好きです。

Q. せんせいのいちばんすきなせいざはなにですか？

A. いるか座やうさぎ座が好きです。明るい星がありませんが、見つけると嬉しくなります。

Q. 先生は、何座が、すきですか？

A. オリオン座とさそり座も大好きです。カッコいい。

Q. 先生は、何ざですか？私たちは、双子座です。

A. 私は、てんびん座生まれです。

Q. なんでそんなにほしとかが好きなんですか？

A. 星は、とてもきれいだからです。また、星は誰のものでもなく、世界中の人といっしょに楽しむことができるからです。そして、私たちも星とつながっているからです。（星の輝きの中で炭素などの元素がつけられました。私たちの体をつくる元素も、星の輝きの中でつけられたものなのです。）

Q. 鈴木先生はいつから明石天文科学館で働きはじめましたか

A. 2004年（平成16年からです。）

Q. いつ明石天文科学館ができましたか？

A. 1960年（昭和35年）6月10日です。

Q. 先生のタイプは？

A. さそり座のアンタレスより、こと座のベガの方がタイプです。